

(様式第9)

鹿大医歯病総第623号  
平成21年10月29日

厚生労働大臣

鹿児島大学病院  
高松 英

鹿児島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	182人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	183人	219人	365.1人	看護業務補助	20人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	101人	45人	143.0人	理学療法士	6人	臨床検査技師	44人
薬剤師	34人	6人	40.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	2人	その他	2人
助産師	30人	1人	30.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	556人	30人	580.8人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	2人	0人	2.0人	栄養士	0人	その他の技術員	19人
歯科衛生士	10人	4人	14.0人	歯科技工士	5人	事務職員	125人
管理栄養士	4人	1人	5.0人	診療放射線技師	30人	その他の職員	15人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	570.2人	26.6人	596.8人
1日当たり平均外来患者数	907.7人	409.5人	1,317.2人
1日当たり平均調剤数	935.5 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンピン欠乏症、第Ⅷ因子欠乏症、先天性アンチトロンピンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術(インスリーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の腓良性腫瘍に係る腓体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植を受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	15人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	65人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	25人
・多発性硬化症	40人	・ウェグナー肉芽腫症	9人
・重症筋無力症	87人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	61人
・全身性エリテマトーデス	242人	・多系統萎縮症	21人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	41人	・膿疱性乾癬	17人
・サルコイドーシス	73人	・広範脊柱管狭窄症	19人
・筋萎縮性側索硬化症	19人	・原発性胆汁性肝硬変	9人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	173人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	49人	・特発性大腿骨頭壊死症	61人
・結節性動脈周囲炎	29人	・混合性結合組織病	22人
・潰瘍性大腸炎	35人	・原発性免疫不全症候群	9人
・大動脈炎症候群	18人	・特発性間質性肺炎	28人
・ビュルガー病	15人	・網膜色素変性症	31人
・天疱瘡	8人	・プリオン病	3人
・脊髄小脳変性症	47人	・原発性肺高血圧症	6人
・クローン病	30人	・神経線維腫症	35人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	10人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・パーキンソン病関連疾患	58人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	2人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	12人
・後縦靭帯骨化症	64人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・ハンチントン病	3人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	145回		
剖検の状況	剖検症例数	18 例	剖検率 12.3 %

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
動脈硬化症疾患の危険因子の性差と予防に関するコホート研究	鄭 忠和(主任 国立循環器病センター内藤博昭)	第一内科	1,000	補 委 厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	鄭 忠和(主任 国立循環器病センター北風政史)	第一内科	1,100	補 委 厚生労働省
女性外来と千葉県大規模コホート調査を基盤とした性差を考慮した生活習慣病対策の研究	嘉川亜希子(主任 千葉県生成研究所天野恵子)	第一内科	1,000	補 委 厚生労働省
炎症性腸疾患の画期的治療法に関する臨床研究	岡崎 和一 (分担)坪内博仁	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	3,000	補 委 厚生労働省
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	渡辺 守 (分担)坪内博仁	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,000	補 委 厚生労働省
B型及びC型肝炎ウイルスの感染による肝がん発症の病態解明とその予防・治療法の開発に関する研究	林 紀夫 (分担)井戸章雄	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科)	3,000	補 委 厚生労働省
ジェノミクス技術を用いたウイルス性肝炎に対する新規診断・治療法の開発	金子 周一 (分担)宇都博文	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	2,500	補 委 厚生労働省
非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明と診断法・治療法に関する研究	岡上 武 (分担)宇都博文	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	3,000	補 委 厚生労働省
肝硬変を含めたウイルス性肝疾患の治療の標準化に関する研究	熊田 博光 (分担)桶谷 眞	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	2,000	補 委 厚生労働省
E型肝炎の感染経路・宿主域・遺伝的多様性・感染防止・診断・治療に関する研究	矢野 公士 (分担)桶谷 眞	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,000	補 委 厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	坪内博仁 (代表)	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	42,900	補 委 厚生労働省
HGFによる肝発生・分化制御機序解明に基づく肝再生医療基盤技術創出	坪内博仁	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	8,600	補 委 文部科学省
肝障害とその修復過程におけるオステオアクチビンの役割と解析	井戸章雄	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,300	補 委 文部科学省
プロテオミクスを用いた非アルコール性脂肪肝炎の診断マーカーの探索と検証	宇都浩文	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,900	補 委 文部科学省
肝細胞増殖因子により発現誘導され、抗アポトーシス分子の候補であるNon3の機能解析	森内昭博	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,200	補 委 文部科学省
ウイルス発がんの機序解明と予防・治療法の創出	坪内博仁	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,000	補 委 宮崎県産業支援財団
発症危険度判別によるATL発症リスク診断システムの開発	坪内博仁	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	5,000	補 委 宮崎県産業支援財団
非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の新しい診断マーカー探索とその臨床応用	宇都浩文	消化器疾患・生活習慣病学 (消化器内科)	1,800	補 委 JST
Desert Hedgehog遺伝子変異による末梢神経障害の病態解明と治療法開発	梅原藤雄	神経内科	2,120	補 委 日本学術振興会
Tdp1ノックアウトマウスを用いた神経変性機序の解明	高嶋博	神経内科	1,820	補 委 日本学術振興会

計 20

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
ニューロパチーの病態解明に関する研究	高嶋博	神経内科	14,000	補 委 厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研究	梅原藤雄	神経内科	1,200	補 委 厚生労働省
急性脳炎のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明から新たな治療法確立に向けた研究	渡邊 修	神経内科	1,000	補 委 厚生労働省
運動失調症に関する調査研究	高嶋博	神経内科	1,200	補 委 厚生労働省
糖尿病多発神経障害の臨床病期分類の確立と病期に基づいた治療ガイドラインの作成	出口 尚寿	糖尿病・内分泌内科	800	補 委 厚生労働省
難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発	有村公良	神経内科	14,000	補 委 国立精神・神経センター
筋ジストロフィー及び関連疾患の臨床病態解明と治療法に関する研究	樋口逸郎	神経内科	1,000	補 委 国立精神・神経センター
不随意運動に関する神経機能画像的検討	有村公良	神経内科	300	補 委 垂水中央病院
入浴と身体運動が生体機能に及ぼす影響に関する研究	川平和美	リハビリテーション科	1,000	補 委 ツムラ
脳卒中運動機能障害に対する新たな物理療法による機能回復の研究	川平和美	リハビリテーション科	1,000	補 委 潤和リハビリテーション診療研究所
温泉入浴による糖代謝の改善に関する研究—入浴時の体温上昇による糖処理率およびインスリン反応の変化—	下堂 薫恵	リハビリテーション科	1,000	補 委 日本健康開発財団
ミカルディス錠特定使用成績調査	下堂 薫恵	リハビリテーション科	270	補 委 アステラス製薬
霊長類脳梗塞片麻痺モデルにおける機能回復とリハビリテーションアプローチ	池田聡	リハビリテーション科	5,590	補 委 日本学術振興会
脳卒中患者の感覚障害に対する末梢神経刺激、中枢神経刺激併用の集中的治療	衛藤誠二	リハビリテーション科	2,080	補 委 日本学術振興会
温泉を用いた前腕浴の痙性麻痺上肢機能への影響—運動誘発電位、体性感覚誘発電位、F波による検討	衛藤誠二	リハビリテーション科	300	補 委 日温泉気候物理医学会
中枢性視野障害(視野欠損)に対するコンピュータ化視覚反復刺激訓練装置とその臨床応用	緒方敦子	リハビリテーション科	300	補 委 垂水中央病院
神経因性膀胱における温度受容体の機能に関する研究	吉田輝	リハビリテーション科	1,690	補 委 日本学術振興会
空気圧人工筋肉の特性を生かしたリハビリテーション装具の研究開発	松元秀次	リハビリテーション科	1,700	補 委 独立行政法人科学技術振興機構(JST)
精神障害における神経有棘赤血球症遺伝子群の関わりに関する総合的研究	佐野 輝	精神機能病学分野 (神経科精神科)	7,930	補 委 文部科学省
神経有棘赤血球症遺伝子群と精神障害	佐野 輝	精神機能病学分野 (神経科精神科)	1,000	補 委 平成20年度精神神経系薬物治療研究基金研究助成金
精神神経疾患におけるミトコンドリア遺伝子異常の解析	中村 雅之	精神機能病学分野 (神経科精神科)	650	補 委 文部科学省
ヒト造血幹細胞の加齢に関する研究	河野嘉文	小児科	1,600	補 委 日本学術振興会
炎症と細胞障害に関与する核内蛋白・HMGB1による新しい川崎病重症度評価	野村裕一	小児科	1,700	補 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
新興病原菌としての腸管凝集性大腸菌の分子疫学研究と免疫クロマト迅速診断法の開発	西順一郎	小児科	1,500	①補委 日本学術振興会
神経芽腫におけるリスク分類にもとづく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療法の開発研究	河野嘉文	小児科	600	①補委 厚生労働省
再発等の難治性造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を用いた効果的治療法確立に関する研究	河野嘉文	小児科	1,000	①補委 厚生労働省
法制化後の小児慢性特定疾患の登録・管理・治療に関する研究	武井修治	小児科	1,000	①補委 厚生労働省
小児期のリウマチ・膠原病の難治性病態の診断と治療に関する研究	武井修治	小児科	500	①補委 厚生労働省
重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・ステロイド初期併用投与の効果を検討する前方視的無作為比較試験	野村裕一	小児科	3,000	①補委 厚生労働省
ワクチンの有用性向上のためのエビデンス及び方策に関する研究	西順一郎	小児科	500	①補委 厚生労働省
食中毒調査の精度向上のための手法等に関する調査研究	徳田浩一	小児科	1,000	①補委 厚生労働省
ヒトヘルペスウイルス6型感染症により誘導された抗カルジオリピン抗体産生の持続性についての研究	豊島光雄	小児科	100	①補委 鹿児島県医師会医学研究助成
ヒトヘルペスウイルス6型感染症と抗リン脂質抗体の関連についての研究	豊島光雄	小児科	500	①補委 森永奉仕会
癌リンパ節転移におけるリンパ管新生因子の機能解析と役割に関する基礎的研究	夏越 祥次	第一外科	1,300	①補委 日本学術振興会
肝発癌過程における組織炎症恒久化因子の同定と制御に関する基礎的・臨床的検討	上野 真一	第一外科	1,600	①補委 日本学術振興会
抗腫瘍免疫機構からみた消化器癌におけるリンパ節微小転移の動向に関する研究	石神 純也	第一外科	900	①補委 日本学術振興会
整容性を考慮した乳房温存時における遊離真皮脂肪片移植の生着機序の解明と臨床応用	喜島 祐子	第一外科	800	①補委 日本学術振興会
消化器癌における循環癌細胞とリンパ節微小転移の臨床的意義	上之園 芳一	第一外科	1,900	①補委 日本学術振興会
リンパ行性転移におけるリンパ管新生とリンパ節微小転移の意義の解明	蔵原 弘	第一外科	1,700	①補委 日本学術振興会
切除可能中等度進行食道癌の治療、食道切除か根治的化学放射線治療か:多施設研究	研究分担 夏越 祥次	第一外科	50	①補委 日本学術振興会
食道癌の診療向上のための分子遺伝学のおよび分子疫学的研究	研究分担 夏越 祥次	第一外科	400	①補委 日本学術振興会
消化器外科手術における合成吸収糸使用の手術部位感染抑制効果に関する多施設共同並行群間無作為化比較試験	研究分担 夏越 祥次	第一外科	1,000	①補委 厚生労働省
アリムタ注射用500mg特定使用調査(悪性胸膜中皮腫)	柳 正和	第一外科	60	補委 日本イーライリリー

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
グリベック錠100mg消化管間質腫瘍(GIST)特別調査	北菌 正樹	第一外科	30	補 ⑤委 ノバルティスファーマ
スーテントカプセル12.5mg特定使用成績調査ー消化管間質腫瘍に対する調査	石神 純也	第一外科	1,800	補 ⑤委 ファイザー
タルセバ錠特定使用成績調査(全例調査)	柳 正和	第一外科	300	補 ⑤委 中外製薬
癌の進展に対する診断の精度向上に関する研究	夏越 祥次	第一外科	2,000	補 ⑤委 高原町長
患者侵襲軽減のための鏡視下手術の成績向上のための研究	夏越 祥次	第一外科	1,000	補 ⑤委 高原町長
消化器癌発生の伸展における炎症の関与に関する研究	夏越 祥次	第一外科	1,000	補 ⑤委 垂水中央
アービタックス注射液100mg使用成績調査	北菌 正樹	第一外科	60	補 ⑤委 ブリストルマイヤーズ
ゼローダ錠300特定使用成績調査「DuKesC結腸癌における術後補助化学療法」	北菌 正樹	第一外科	60	補 ⑤委 中外製薬
長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究	井畔 能文	心臓血管外科	500	補 ⑤委 国立循環器病センター
エクスクルーダーY字型ステントグラフトシステム使用成績調査	坂田 隆造	心臓血管外科	60	補 ⑤委 ジャパンゴアテックス株式会社
ユーエフティ特定使用成績調査(非小細胞肺癌完全切除例における服薬状況調査)	中村 好宏	呼吸器外科	300	補 ⑤委 大鵬薬品工業株式会社
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	有田和徳	脳神経外科	900	補 委 厚生労働省
悪性グリオーマにおけるwntシグナル活性化の検討と診断・治療への応用	平野宏文	脳神経外科	1,700	補 委 日本学術振興会
悪性グリオーマに対する樹状細胞/CD133陽性細胞フュージョンワクチン療法の開発	湯之上俊二	脳神経外科	1,500	補 委 文部科学省
関節軟骨におけるGadd45βのC/ebpβ活性化の役割の検討	土持 兼之 (小宮節郎)	整形外科	1,000	補 委 財団法人整形災害外科学研究所助成財団
軟骨恒常性維持と変形性関節症に関わる新規クロマチン蛋白	谷口 昇 (小宮節郎)	整形外科	1,000	補 委 財団法人整形災害外科学研究所助成財団
がん・肉腫幹細胞を標的とした新規治療法の開発ー治療抵抗性肉腫の克服を目指して	小宮節郎	整形外科	4,400	補 委 日本学術振興会
骨軟部腫瘍におけるNotchシグナルと相互作用する異常機構の研究	瀬戸口 啓夫	整形外科	900	補 委 日本学術振興会
変形性関節症の病態解明ーGADD45ベータトランスジェニックマウスの解析ー	井尻 幸成	整形外科	1,900	補 委 日本学術振興会
ポリコム蛋白の機能とターゲット遺伝子解明による関節リウマチ分子標的治療法開発	有島 善也	整形外科	1,800	補 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
中国東北地方の悪性腫瘍と関連疾患の発症要因の学術調査	金蔵拓郎	皮膚科	4,200	⑥補委 海外学術調査
CD147/Basigin を標的とした新たな皮膚癌治療戦略の構築	金蔵拓郎	皮膚科	3,810	⑥補委 日本学術振興会
マイクロRNA発現制御による尿路上皮癌の新規治療の開発	中川 昌之	泌尿器科	10,200	⑥補委 日本学術振興会
尿中メチル化DNA測定による新しい前立腺癌診断キットの開発	榎田 英樹	泌尿器科	1,900	⑥補委 日本学術振興会
microRNA発現プロファイルに基づく膀胱癌の新規治療の開発	川元 健	泌尿器科	2,000	⑥補委 日本学術振興会
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	中川 昌之	泌尿器科	300	⑥補委 厚生労働省
硝子体の研究:環境解析とその制御およびそれを利用した治療開発	坂本 泰二	眼科	5,700	⑥補委 日本学術振興会
ナノリポソームと超音波を利用した新しい眼球への遺伝子、薬物導入法の開発	坂本 泰二	眼科	800	⑥補委 日本学術振興会
バブルリポソームと超音波を利用した前房内薬物送達・遺伝子導入法の開発	内野 英輔	眼科	1,820	⑥補委 文部科学省
加齢黄斑変性における脈絡膜血管構築と紫外線・液性因子・動脈硬化の関連の研究	大久保明子	眼科	1,690	⑥補委 日本学術振興会
超音波眼内薬物送達法の研究	坂本 泰二	眼科	1,000	⑥補委 高齢者眼疾患研究財団
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	小椋祐一郎(研究分担者:坂本泰二)	眼科	2,000	⑥補委 厚生労働省
子宮内膜症におけるシグナル抑制因子の検討	神尾 真樹	生殖病態生理学(産婦人科)	1,300	⑥補委 文部科学省
静脈麻酔薬の呼気中濃度測定センサーの開発	上村裕一	侵襲制御学分野(麻酔科)	1,100	⑥補委 日本学術振興会
周術期に術後鎮痛のために投与されたフェンタニルの乳汁中移行に関する検討	永田悦朗	侵襲制御学分野(麻酔科)	900	⑥補委 日本学術振興会
母体環境と個体の脳機能、行動の発達—消化管ホルモンの神経栄養作用に着目して	乾 明夫	心身医療科	1,600	⑥補委 日本学術振興会
難治性神経代謝疾患に対するトランスレーショナルリサーチ	乾 明夫	心身医療科	6,760	⑥補委 日本学術振興会
胃食道逆流モデルラットにおけるプラキニウム様運動を誘発するメカニズムの解明	乾 明夫	心身医療科	2,990	⑥補委 日本学術振興会
摂食障害における食欲調節ペプチドの一塩基多型と病態、治療、予後に関する研究	安原大輔	心身医療科	1,300	⑥補委 日本学術振興会
レプチンの多彩な作用に着目した糖尿病に対する新たな治療法の開発	兒島真哉	心身医療科	1,690	⑥補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
Parathyroid hormone-related protein と癌性悪液質の病態との関係	浅川明弘	心身医療科	500	補 委 Gastrointestinal Activating System研究会
トランスデューサーを用いた六君子 湯の消化管運動に関する研究	乾 明夫	心身医療科	1,000	補 委 株式会社 ツムラ
もろみ酢飲料の機能性及び生活習 慣病に対する効果に関する研究	乾 明夫	心身医療科	3,000	補 委 田苑酒造株式会社
過敏性腸症候群に対するホクレオ ゾン単味製剤の効果	乾 明夫	心身医療科	2,700	補 委 大幸薬品株式会社
水素の機能性に対するトランスレー ショナルリサーチ	乾 明夫	心身医療科	15,000	補 委 パナ株式会社
ピンホールコリメータを応用した微小 転移リンパ節の分子イメージングシス テムの開発	佐藤強志	顎顔面放射線科	2,990	補 委 日本学術振興会
RA滑膜細胞における活性酸素種産 生と細胞死に対するミトコンドリアMn SODの効果	末永重明	顎顔面放射線科	1,430	補 委 日本学術振興会
核医学における放射性薬品輸送蛋 白の腫瘍マーカーとしての可能性の 検討	川畑義裕	顎顔面放射線科	3,250	補 委 日本学術振興会
黒酢と黒酢もろみ末のミトコンドリア産 生活性酸素発生	馬嶋秀行	顎顔面放射線科	909	補 委 坂元醸造株式会社
ミトコンドリア由来活性酸素による Nrf2-keep	馬嶋秀行	顎顔面放射線科	2,000	補 委 大塚製薬株式会社
放射線耐性に対するミトコンドリアの 役割解明研究	馬嶋秀行	顎顔面放射線科	13,749	補 委 独立行政法人農業生物資源研究 所
平成20年度イノベーション創出基礎 的研究推進事業(技術シーズ開発 型) 筋肉老化を防ぐ抗ユビキチン化 ペプチドおよびフラボノイドの開発	馬嶋秀行 (分担者)	顎顔面放射線科	3,158	補 委 独立行政法人農業・食品産業技 術総合研究機構
歯科治療時における音楽・笑気併用 鎮静法の自律神経と循環動態変動 に及ぼす影響	梶山加綱	歯科麻酔科	1,300	補 委 日本学術振興会
スタチンによる手術後認知機能低下 の予防に関する基礎的研究	糀谷 淳	歯科麻酔科	1,500	補 委 日本学術振興会
学習記憶増強酵素スルフォトランス フェラーゼの発現調節と麻酔薬によ る修飾機序	糀谷 淳	歯科麻酔科	1,300	補 委 日本学術振興会
睡眠時の口腔咽頭食道内の酸のク リアランスと酸関連上部消化器疾患に 対する咬合の影響	宮脇正一	矯正歯科	7,410	補 委 日本学術振興会
下顎頭軟骨の形成、成長、機能維持 におけるTen-m/Odz3の役割に関する 研究	福永智広	矯正歯科	2,080	補 委 日本学術振興会
食道内への胆汁逆流が睡眠時ブラ キシズムに及ぼす影響を明らかにす る研究	大牟禮治人	矯正歯科	2,080	補 委 日本学術振興会
MyD88ノックアウトマウスを用いた矯 正学的歯の移動における炎症様反 応機構の解明	前田 綾	矯正歯科	1,170	補 委 日本学術振興会
胃食道逆流モデルラットにおける ブラキシズム様運動を誘発するメカ ニズムの解明	上村裕希	矯正歯科	2,990	補 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
小児の睡眠障害およびブラキシズムとストレス、呼吸消化器症状、顎顔面形態との関連	坂口勝義	矯正歯科	650	補委 日本学術振興会
永久歯の先天性欠如に関する総合的研究	山崎要一	小児歯科	4,550	補委 日本学術振興会
哺乳時の下顎の動きは前後が主体である これは咀嚼運動においていつまで継続するか?	早崎治明	小児歯科	1,040	補委 日本学術振興会
コンビームX線CTによる小児の気道と顎顔面形態の流体力学的研究	岩崎智憲	小児歯科	650	補委 日本学術振興会
身体抑制ストレス反応に対する幼少期母子分離の影響-中枢神経系メカニズムの解明-	松本祐子	歯科総合診療部	1,430	補委 日本学術振興会
口唇口蓋裂児の哺乳時舌圧からみた離乳開始期判別システムの開発	徳富順子	小児歯科	1,755	補委 日本学術振興会
血小板由来増殖因子によるマウス顎下腺分岐形態形成の制御	山本晋也	小児歯科	1,742	補委 日本学術振興会
転写因子レベルにおけるセメント芽細胞分化制御解析と歯周組織再生への応用	野口和行	歯周病科	1,300	補委 日本学術振興会
新規炎症調節物質(ANAとHMGB-1)を軸とした歯周病態形成機構の解明と制御	町頭三保	歯周病科	650	補委 日本学術振興会
炎症増悪における血管内皮細胞増殖因子の機能とその意義	志野久美子	歯周病科	1,170	補委 文部科学省
有茎自家骨トランスポートと吸収性人工骨を応用した新たな生体模倣型骨造成法の開発	白方良典	歯周病科	1,500	補委 文部科学省
レニンアンギオテンシン系を軸とした歯周病とメタボリック症候群の分子生物学的解析	中村利明	歯周病科	2,210	補委 文部科学省
アディポネクチンと歯周病の分子メカニズム解析	迫田賢二	歯周病科	2,000	補委 文部科学省
新規炎症性メディエーターHMGB1を軸とした歯周病進行と歯周病態制御の解析	森元陽子	歯周病科	1,600	補委 文部科学省
内因性カンナビノイドを介する歯周病と動脈硬化性疾患の関連性	中島結実子	歯周病科	1,040	補委 文部科学省
交互浸漬を用いた新開発チタンアパタイト表面と骨芽細胞の付着解析	宮本元治	歯周病科	1,330	補委 日本学術振興会
歯周病におけるTACEの機能と、TACE阻害剤の有効性の検討	野口和行	歯周病科	1,000	補委 科研製薬
ビーグル犬歯周組織欠損におけるbFGFの効果に関する組織学的研究	野口和行	歯周病科	1,365	補委 科研製薬
KCB1-D歯周組織再生試験(第Ⅲ相・検証的試験)	野口和行	歯周病科	4,536	補委 科研製薬
顎骨骨増生に対する骨補填材・骨成長因子に関するエビデンスを得るための臨床応用研究	西原 一秀	口腔顎顔面外科	910	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
摂食・嚥下障害に対する顎口腔機能評価および訓練法の標準化	中村 康典	口腔顎顔面外科	3,900	①補 委 日本学術振興会
医療面接シミュレータによる生涯教育と地域連携データベースの応用に関する評価研究	熊本 一朗	医療情報部	600	①補 委 日本学術振興会
医薬品副作用シグナル検知システムへのテキストマイニング技術の応用に関する研究	村永 文学	医療情報部	2,500	①補 委 日本学術振興会
レトロウイルスによる神経傷害機序: HAMとエイズ脳症患者試料を用いた多角的解析	古川 良尚	輸血部	400	①補 委 日本学術振興会
難治性てんかんに関わるコンタクトン関連蛋白質の分子間相互作用の解析	武田 泰生	薬剤部	2,210	①補 委 日本学術振興会
低酸素で誘導されるアポトーシスのチミジンホスホリラーゼによる抑制機構	池田 龍二	薬剤部	1,560	①補 委 日本学術振興会
抗がん剤で誘導されるアポトーシスのチミジンホスホリラーゼによる抑制機構	池田 龍二	薬剤部	1,000	①補 委 薬学研究奨励財団
積極的栄養管理を含めた化学放射線療法施行時における免疫学的指標の変動に関する研究	藤崎 裕子	薬剤部	570	①補 委 日本学術振興会
個別化医療に向けた抗がん剤感受性試験に基づく科学的がん薬物療法に関する研究	牛山 美奈	薬剤部	990	①補 委 日本学術振興会
緑茶カテキンと各種薬物との相互作用に関する研究	園田 純一郎	薬剤部	540	①補 委 日本学術振興会
黒酢の薬物相互作用に関する研究	柴山 良彦	薬剤部	570	①補 委 日本学術振興会
パクリタキセルによる末梢神経障害の新規発症メカニズムの解明	茂見 茜里	薬剤部	570	①補 委 日本学術振興会
				計 12 総計 155

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intern Med 2009;48:273-279	Interindividual divergence in the relationship between the values of plasma glucose and hemoglobin A1c in type 2 diabetes	Tei C, et al.	第一内科
Circ J 2009;73:434-435	New approaches to the evaluation of coronary endothelial function direct measurement of intra-arterial no concentration in vivo	Tei C, et al.	第一内科
J Cardiol 2009;53:127-135	The role of infection in the development of non-valvular atrial fibrillation: Up-regulation of Toll-like receptor 2 expression levels on monocytes	Tei C, et al.	第一内科
Am J Cardiol 2009;103:322-327	Combined Prognostic Utility of White Blood Cell Count, Plasma Glucose, and Glomerular Filtration Rate in Patients Undergoing Primary Stent Placement for Acute Myocardial Infarction	Tei C, et al.	第一内科
Arc Physic Med Re 2009;90:173-177	Safety, Acceptance, and Physiologic Effects of Sauna Bathing in People With Chronic Heart Failure: A Pilot Report	Tei C, et al.	第一内科
Leukemia 2009;23:375-382	PD-1/PD-L1 expression in human T-cell leukemia virus type 1 carriers and adult T-cell leukemia/lymphoma patients	Tei C, et al.	第一内科
Molecular Therapy 2009;17:262-268	Direct injection of Kit ligand-2 lentivirus improves cardiac repair and rescues mice post-myocardial infarction	Tei C, et al.	第一内科
Circ J 2008;72:1937-1945	Better survival with statin administration after revascularization therapy in Japanese patients with coronary artery disease - Perspectives from the CREDO-	Tei C, et al.	第一内科
Intern Med 2008;47:1473-1476	Efficacy of Waon therapy for fibromyalgia	Tei C, et al.	第一内科
Circ J 2008;72:1737-1743	Impact of subvalvular procedure for ischemic mitral regurgitation on leaflet configuration, mobility, and recurrence	Tei C, et al.	第一内科
Hypertension Research 2008;31:1631-1642	The long-term effect of angiotensin II type 1a receptor deficiency on hypercholesterolemia-induced atherosclerosis	Tei C, et al.	第一内科
J Cardiol 2008;52:79-85	Beneficial effects of Waon therapy on patients with chronic heart failure: Results of a prospective multicenter study	Tei C, et al.	第一内科
Intern J Hemato 2008;88:331-335	Case of a patient with Philadelphia-chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia relapsed after myeloablative allogeneic hematopoietic stem cell transplantation treated successfully with imatinib and sequential donor lymphocyte infusions	Tei C, et al.	第一内科
J Infection 2008;57:249-259	Toll-like receptor 2 expression level on monocytes in patients with viral infections: Monitoring infection severity	Tei C, et al.	第一内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cardiol 2008;52:7-16	No reflow-like pattern in intramyocardial coronary artery suggests myocardial ischemia in patients with hypertrophic cardiomyopathy	Tei C,et al.	第一内科
Am J Cardiol 2008;102:197-202	A Technique for Diagnosis of Accessory Pathway Using the H-H and A-A Intervals of the First Entrained Cycle During Ventricular Overdrive Pacing	Tei C,et al.	第一内科
Intern Med 2008;47:675-678	Pyogenic liver abscess related to dental disease in an immunocompetent host	Tei C,et al.	第一内科
Thrombosis Research 2008;121:773-780	Dysfibrinogen Kagoshima with the amino acid substitution $\gamma$ Thr-314 to Ile: Analyses of molecular abnormalities and thrombophilic nature of this abnormal molecule	Tei C,et al.	第一内科
J Cardiol 2008;51:145-156	Mechanism of ischemic mitral regurgitation	Tei C,et al.	第一内科
Circ J 2008;72:521-525	Impact of body mass index on in-hospital outcomes after percutaneous coronary intervention for ST segment elevation acute myocardial infarction	Tei C,et al.	第一内科
Intern J Cardiol 2008;126:53-61	Adiponectin is a better predictor of endothelial function of the coronary artery than HOMA-R, body mass index, immunoreactive insulin, or triglycerides	Tei C,et al.	第一内科
Intern J Hemato 2008;87:319-326	Allogeneic stem cell transplantation for refractory adult T-cell leukemia using a non-T-cell-depleted HLA-incompatible family donor graft, with reference to the grown-up child donor to parent recipient setting: Report of a pilot study	Tei C,et al.	第一内科
J Postgradu Med 2008;54:149	Massive gastric distension from excessive food infarction	Tei C,et al.	第一内科
J Cardiol 2008;51:106-113	Repeated Waon therapy improves pulmonary hypertension during exercise in patients with severe chronic obstructive pulmonary disease	Tei C,et al.	第一内科
Cancer Lett	Activation of complement system in adult T-cell leukemia (ATL) occurs mainly through lectin pathway: A serum proteomic approach using mass spectrometry.	Tsubouchi H	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科)
J Gastroenterol	Endoscopic characterization of the small bowel in patients with portal hypertension evaluated by double balloon endoscopy.	Uto H, Tsubouchi N, Ido A, Tsubouchi H	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科)
J Gastroenterol.	Association of a genetic polymorphism in ectonucleotide pyrophosphatase/phosphodiesterase 1 with hepatitis C virus infection and hepatitis C virus core antigen levels in subjects in a hyperendemic area of Japan.	Uto H, Kanmura S, Oketani M, Ido A, Tsubouchi H	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科)
Inflamm Bowel Dis.	Human neutrophil peptides 1-3 are useful biomarkers in patients with active ulcerative colitis.	Kanmura S,Uto H, Fujita H, Oketani M, Ido A, Tsubouchi H	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科)
Hepatol Res.	Translational research on HGF: A phase I/II study of recombinant human HGF for the treatment of fulminant hepatic failure.	Ido A, Tsubouchi H.	消化器疾患・生活習慣病学(消化器内科)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabet Med	Serum VEGF increases in diabetic polyneuropathy, particularly in the neurologically active symptomatic stage.	Deguchi T	糖尿病・内分泌内科
Neuropediatrics.	Genetically confirmed patients with merosin-deficient congenital muscular dystrophy in China.	Takashima H	神経内科
Retrovirology	In vivo expression of the HBZ gene of HTLV-1 correlates with proviral load, inflammatory markers and disease severity in HTLV-1 associated myelopathy/tropical spastic paraparesis (HAM/TSP).	Arimura K	神経内科
J Neurovirol.	Accumulation of human T-lymphotropic virus type I (HTLV-I)-infected cells in the cerebrospinal fluid during the exacerbation of HTLV-I-associated myelopathy.	Hayashi D	神経内科
Rinsho Shinkeigaku.	Subcommittee of the Japanese Society of Neurology for Undergraduate Education. [Nationwide questionnaire study in "the Model Core Curriculum" and current status for the undergraduate education in neurology]	Arimura K	神経内科
Cochrane Database Syst Rev.	Treatment for POEMS (polyneuropathy, organomegaly, endocrinopathy, M-protein, and skin changes) syndrome.	Arimura K	神経内科
J Neuroimmunol.	Reduced Foxp3 expression with increased cytomegalovirus-specific CTL in HTLV-I-associated myelopathy.	Hayashi D	神経内科
Rinsho Shinkeigaku	A case of reversible cerebral vasoconstriction syndrome (RCVS) triggered by a Chinese herbal medicine	Ichiki M	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Prevalence and incidence rates of chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy in the Japanese population.	Arimura K	神経内科
J Med Genet.	Schimke immuno-osseous dysplasia: SMARCAL1 loss-of-function and phenotypic correlation.	Takashima H	神経内科
Mov Disord	Familial Parkinsonism with digenic parkin and PINK1 mutations.	Takashima H	神経内科
Urology 72(3): 701-705, 2008	Effect of menthol on detrusor smooth-muscle contraction and the micturition reflex in rats	吉田 輝	リハビリテーション科
適応医学 12(2): 38-46, 2008.	リハビリテーション医療への温泉応用の効果.	川平 和美	リハビリテーション科
リハビリテーション医学 45(9): 591-597, 2008.	最新のリハビリテーション 痙縮のマネジメント	松元 秀次	リハビリテーション科
J Hum Genet	Microarray comparative genomic hybridization analysis of 59 patients with schizophrenia.	Mizuguchi T., Sano A., et al	精神機能病学分野 (神経科精神科)
J Psychiatr Res	Gene expression and association analyses of the PDE4B (Phosphodiesterase 4B) gene in major depressive disorder in the Japanese Population.	Numata S., Sano A., et al	精神機能病学分野 (神経科精神科)
臨床精神医学	拡大自殺により実子を殺害したうつ病患者に関する考察	赤崎 安昭 他	精神機能病学分野 (神経科精神科)